

静岡市議会議員

## まつや清

静岡市議会観光文化経済委員会  
議会運営委員会オブザーバー 各派代表者会議オブザーバー  
静岡市議会 超党派太鼓サークル「葵陣太鼓」事務局長

緑の党  
グリーンズジャパン



発行：まつや清を応援する会 〒420-0839 静岡市葵区鷹匠 3-3-1 井口ビル 2A TEL:054-209-5677  
E-mail:chikyū\_house@yahoo.co.jp

## 清水庁舎建設の是非を問う住民投票条例案

賛成 8 緑の党、共産党、創生静岡 反対 36 自民党、志政会、公明党

何故、反対会派は堂々と討論をしなかったのだろうか！

一方「清水庁舎・海洋施設 PFI 予算の廃止」発表、9月議会に注目！



条例案は反対多数で否決

5月29日、田辺市長はコロナ感染が広がる中、「コロナ対策を優先するため清水庁舎・海洋文化ミュージアム・歴史文化施設（総額400億）事業を凍結する」、「9月をめどにリスタートの方向性を示す」ことを公表しました。8月3日から7日の臨時議会で、田辺市長は住民投票条例に反対の態度。ところが、第2波ともいえる急速な感染拡大の中、8月31日の議会運営委員会には「清水庁舎・海洋施設 PFI 予算廃止」を提案。大歓迎ですが、計画自体の白紙撤回ではありません。9月議会にご注目ください！

## 8月3日 8月臨時議会の議案質疑

**まつや**：市長は、なぜ住民投票条例制定に反対なのか。

**市長**：方針策定の段階から直接対話も含め、市民の意見を反映・集約し、市議会で意思決定されてきた。住民投票は、間接民主主義を補完する役割と理解するが、意思決定過程を踏まえると「民主制を補完すべき事項」とは言えない。

## 8月4日の総務委員会における請求代表者の一人、長倉正昭さんの意見表明

**長倉**：市長選挙（48.76%）、市議会議員選挙（41%）の投票率は下がり続けている。署名活動の中で、「今まで投票に行ったが何も変わらないから行かなくなった。しかし、今回は住民投票署名をしたい。」という多くの方々に出会った。住民投票の実施は、市民が意見を表明でき、政治不信の解消につながる側面を強く感じた。その意味でも、住民投票の実施を求めたい。

## 8月7日 住民投票条例臨時議会賛成討論 まつやの主張

田辺市長は、条例15条の「投票結果の尊重」規定に対して、「投票率の規定がない条例案では、投票率が下がった時、どの意見が多数意見かわからない、だから反対」と述べた。

しかし、そもそも、①現在の議員は、2017年の選挙で選ばれているが、当時、清水庁舎建設は政治争点にはなく、有権者に是非を問うていない ②市長の投票率の指摘を今回の条例案審議に当てはめると、過半数以下の41%の投票率で生まれた議会での議決は、市民の声の多数を代弁しているとは言えない。だからこそ、住民投票条例を可決し実施すべきである。

市長選挙の田辺市長の得票数は、13万8454票、有権者数58万4837人の23.67%に過ぎなく、今回の署名数5万2300人は市長の得票数の37%にも匹敵する。5万2300人の署名の重みを軽視しているのではないか。

静岡市の民主主義が、投票率の低さという形で形骸化しつつあるということに、どれだけの危機感を持っているのだろうか。市長意見の理屈で行けば、市長選挙も市議会議員選挙も最低投票率を定める条例を制定しなければなりません。住民投票制度は、間接民主制の補完というレベルを超え、市長・議員選挙と密接に組み合わせることで民主主義制度の進化をもたらすと考える。

### ベーター安東川ネット 市長への要望書「SDGs 未来都市計画」

7月21日、ベーター安東川ネットワーク代表の山倉慎二さん（重度心身障害児・者施設「つばさ静岡」施設長・医師）から本田武志副市長に「麻機遊水池とSDGsに関する要望書」が手渡されました。中央高校生物部顧問の篠田聖児さんからは、「ベーター村構想の理念（＝社会的弱者との共生）は、市長が提唱するSDGsの理念そのもので、SDGs未来都市計画に麻機遊水池を位置づけてほしい」と提案がありました。8月9日に、麻機遊水池保全利用協議会有志の会合で要望書提出について報告がされました。現在、会員募集をしています。裏面記載の地球ハウスまでご連絡ください。



### クラスター発生！世田谷モデルを参考に 介護施設など定期的PCR検査導入を！

臨時議会（4/17、5/1、5/20～5/22）と6月定例会（6/16～7/13）では、新型コロナウイルス対策予算が連続して予算計上されました。まつやはこの間、4回の質疑と4回の賛成討論をしました。

## ①6月議会 まつや清の質問内容&gt;

①追加予算…障がい者施設、高齢者施設で感染者発生の場合の事業継続計画支援費等（7億5100万円）

⇒ 第1波（～5月）をはるかに超える感染者の増加を見据え、重症化が予測される介護施設関係者に対しPCR検査、抗原検査、抗体検査の早期実施。（世田谷モデルを目標に9月議会の課題）

②補正予算…GO TO キャンペーン等（18億3272万円）

⇒ 「今、実施すべき時期ではないことは明らか。インバウンドや県外からの観光客誘致より県内、市内の観光資源の磨き上げや感染防止認証制度の導入を強く訴えた。

飲食店でのクラスター発生、若者世代の無症状感染者の増加が顕在化。8月末、ようやく店名公表の検討や認証ステッカー制度が導入となります。

## 市民文化会館の創造的大規模改修は？ アフターコロナとSociety5.0の視点

8月22日には、「公共空間を考える会」（市民グループ）による、「アフターコロナ&Society5.0における市民文化会館の役割」（リモート）が開催されました。ナビゲーターに甲賀雅章さん（クリエイター）、鳥居久保さん（針ヶ谷建築事務所所長）、南荘宏さん（混声合唱団 TERRA 代表）、ナカノヤスヒロさん（商業映像ディレクター）によるシンポジウム。コロナ禍の文化芸術活動の大切さの再認識、練習や表現の場の少なさ、ホールの中の舞台芸術と広場におけるパフォーマンスアーツとの連携。事務室部分を減築し、北街道と繋げ「表」と「裏」をなくした回遊性のある市民文化会館。減築部門の機能を広場に建築物として分散すると共に、Society5.0にふさわしいAI活用のバーチャルリアリティ、舞台装置なき劇場など、未来社会の市民文化会館が語られ、楽しく刺激的でした。

まつやからは、2017年から2020年までの市民文化会館再整備・多目的アリーナ構想の白紙撤回、「創造的改修」（大規模改修）に至る経過を説明しました。また、8月13日に実施された静岡市主催の「駿府城公園エリアから静岡市の未来を考える」でのトークセッションの内容などを報告しました。

今後の「公共空間を考える会」の活動に注目すると共に、市民の皆様からのご意見・ご提案をお待ちしています。

## リニアトンネル工事 地下水位 300m 低下の衝撃 静岡市は生態系保持に向け国への要請が必要

第4回国交省有識者会議（7/16）においてJR東海は、「掘削完了20年後に地下水位が300m以上低下。渇水期の流量が最大で7割程度減少する」ことを公表しました。

2018年12月に静岡県が47項目の公開質問状を提出して以来、完全公開のもとで静岡県の専門家会議とJR東海との回答をめぐる協議を進められてきました。しかし、誠意ある回答がなく、暗礁に乗り上げました。本来なら、許可をした国土交通省の責任が問われるところですが、「仲裁的なポーズ」で有識者会議を設置しました。

静岡県は、この地下水位の低下に対して、国土交通省に追加のボーリング調査や地下水位の低下に対する見解、環境省に南アルプスへの生態系への影響に対する対応方針を求める要望書を提出しました。

井川地区のトンネル工事にJR東海が財源負担をするからといって、静岡市がこの地下水位問題に沈黙することは許されません。

静岡市では、毎年2000万円をかけて南アルプス環境影響調査を実施していて、地下水調査も行いました。環境省に対して、対応方針を求める要望書を出す必要があります。また、トンネル工事によって損害を被る利害関係者による民事訴訟準備も始まっています。引き続き議会の中で問題提起をしていきたいと考えます。

## 全国で広がる 気候危機！非常事態宣言 静岡市議会でも挙げたいものだ！

6/30 総括質問 「気候危機とコロナ危機そしてグリーンニューディール」

8/23 気候危機！「国会議員と自治体議員によるオンライン シンポジウム」

8/28 大学生グループ「Friday For Future 静岡」と静岡市議会全会派代表者との意見交換会



**まつや**：小泉環境大臣は、環境白書閣議決定後の記者会見で「気候危機宣言」「コロナ・気候二つの危機に“脱炭素、循環経済、分散型社会”への移行」と発言したが、これをどう受け止めたか。

**環境局長**：具体的な内容は、令和3年度概算要求で明らかにするとしており引き続き、国の取組を注視しつつ、「第2次静岡市地球温暖化対策実行計画」を着実に推進する。

**まつや**：長野県モデルを参考に、静岡市は、「2030年Co2排出量を45%削減」という大胆な目標を設定すべきではないか。

**環境局長**：本市としてはいずれも多くの課題を有していると認識しており、現時点で2030年度までに大幅に普及・拡大することは、困難な状況にあると考える。

この静岡市の姿勢を受けて、7月29日に大学生グループ“Friday For Future 静岡”のメンバーから、議員との意見交換会実施を求める要望があり、まつやが同行し、各会派に開催の提案をしました。8月28日、10名余の大学生と各会派代表者との意見交換会が開催されました。8月23日には、京都市で「超党派国会議員と超党派自治体議員による気候危機オンラインシンポジウム」が開催され座長を務めました。静岡市議会でも、「気候危機・非常事態宣言」の決議ができる環境づくりに努めていきたいと考えます。

## 活動に見る まつや清の日々



6/27 まつや清を応援する会  
総会・講演会開催（リモート）  
講師は、経済学者の齋藤幸平さん



7/31 Friday For Future 静岡（学生団体）が議員との「気候危機宣言」についての意見交換会開催を呼びかける。



8/16 猛暑日が続く静岡  
夕方の駿府城公園 久しぶりの  
マラソントレーニング



8/25 全国政策研究会京都大会  
（リモート併用）リニア分科会（司会  
担当）静岡県副知事登場

## 静岡市議会 9月定例会会議日程

【9月11日～10月9日 29日間】

9/23・9/24・9/25 総括質問

9/29・9/30 厚生委員会・観光文化経済委員会・都市建設委員会

10/1・10/2 総務委員会・企業消防委員会・市民環境教育委員会

## まつや清プロフィール

1951年 新潟県柏崎市生まれ 静岡大学工学部中退

1987年 静岡市議会議員（3期）、静岡県議会議員（1期）、

国会議員政策秘書を経て、2009年より静岡市議会議員（3期）

## イベント・インフォメーション

### ■ 9/19 まつや清を応援する会 臨時総会&トークセッション

臨時総会：14:00～14:50（13:30開場）

トークセッション：15:15～16:30 「with コロナ時代のまちづくり」

場所：もくせい会館 第1会議室

※参加は、来場でもリモートで可能です。

※臨時総会・トークセッションのお申し込みは、

以下の電話番号へ。トークセッションにリモートで参加希望の方は右記QRコードから

### ■ チャンネルまつや YouTubeにて配信 「chまつや」で検索してください。

問合せ・申込先：054-209-5677（地球ハウス）

トークセッション

